

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 30 日 (2021.4.30)

【公表番号】特表 2020-511290 (P2020-511290A)

【公表日】令和 2 年 4 月 16 日 (2020.4.16)

【年通号数】公開・登録公報 2020-015

【出願番号】特願 2020-501414 (P2020-501414)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/958 (2013.01)

【F I】

A 6 1 F 2/958

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 18 日 (2021.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

注入ポートと、ステントバルーン膨張ポートとを備える近位のマニホールドと、  
前記マニホールドから遠位に延在し、前記注入ポートと流体連通する注入ルーメンと、  
前記ステントバルーン膨張ポートを流体連通する膨張ルーメンとを画定するカテーテルと、

、  
前記カテーテルによってさらに画定される治療薬ルーメンと流体連通し、前記治療薬ルーメンの遠位端に通じる治療薬ポートと、

前記カテーテルの遠位端の近くで前記カテーテルを囲み、前記膨張ルーメンと流体連通するステントバルーンと、

前記ステントバルーンを囲むステントと、を有することを特徴とする複合されたステント送達および閉塞装置。

【請求項 2】

前記ステントバルーンは、膨張した際に閉塞バルーンとして機能し、前記ステントバルーンが膨張した血管を通る血流を遮断する請求項 1 に記載の複合されたステント送達および閉塞装置。

【請求項 3】

前記治療薬ポートは、前記マニホールドの遠位に位置する請求項 1 に記載の複合されたステント送達および閉塞装置。

【請求項 4】

閉塞バルーンをさらに有する請求項 1 に記載の複合されたステント送達および閉塞装置。

【請求項 5】

前記閉塞バルーンは、前記ステント送達バルーンの遠位に位置する請求項 4 に記載の複合されたステント送達および閉塞装置。

【請求項 6】

前記遠位のマニホールドは、閉塞バルーン膨張ポートをさらに有する請求項 4 に記載の複合されたステント送達および閉塞装置。

【請求項 7】

前記カテーテルは、閉塞バルーン膨張ルーメンをさらに画定する請求項 6 に記載の複合

されたステント送達および閉塞装置。